

「豊岡市立小中学校における適正規模・適正配置のあり方について」

答申説明会 意見・アンケート結果（但東会場）

- 開催日 2021年7月12日（月）19:00～20:15
- 会場 但東市民センター ホール（市役所但東庁舎）
- 出席者 参加者 37名  
教育委員会事務局 9名

■ 質疑・意見交換（要旨）

意見・質問	回 答
<p>小中一貫校になった場合に今のスペースで全部が入りきるのか。</p>	<p>現但東中学校は各学年に2クラス分ずつの教室があるので、現在は3つが余裕教室という形になっている。</p> <p>したがって、小学校を丸ごとひとつ建てるということではなくて、空きスペースも利用しながら、追加しなければならない機能を中心に考えていく。単純に今の小学校と中学校の面積が入るといったものではないと考えている。</p> <p>運動場についても、同じ時間帯に体育をするということではなく、時間割の調整をする。クラブ活動についても安全性の確保も含めて今後検討する必要があるが、面積的には十分に足りている。</p>
<p>第一義的には答申の内容でよいかと思うが、もっと努力する必要がある。豊後高田市は、市長を頭にそれなりの努力をして人口も増えている。そういうことも参考にしてやっていただきたい。</p>	<p>人口減少対策について、豊岡市全体では、地方創生の取組を6年ほど前から取り組んでいるが、国勢調査では5年前と直近では人口が約5千人減っている。それを緩やかにしようと総合戦略を策定した。</p> <p>昨年度、移住相談を通じて実際に移住した方が過去5年間で最高という数字が出ている。2016年が27人で、2020年が123人であった。コロナの関係もあるが、これまでの豊岡の取組が注目を浴びて、転入された方が増えたのではないかと思う。ちなみに、但東地域の数字を見ると、2020年が14人の7組、その前年は1人と、大きくUIターンの方が増えている。これにリンクするような形で地元の移住定住の取組というものを増やすことが大事と思う。地域おこし協力隊</p>

	<p>や移住促進住宅の取組もあるので、効果も期待したい。</p> <p>教育委員会としては、豊岡教育プランの中で、コミュニケーション教育、ふるさと教育、英語教育を強めてやっている。</p>
<p>子どもが小学2年生で、合橋地区の放課後児童クラブに入っているが、統合したときにどうなるのか。</p>	<p>基本的には一つの小学校に一つの放課後児童クラブということになる。小学校が統合すれば、放課後児童クラブもあわせて統合することを基本としているが、答申の中で配慮するようにという付帯意見もあるので、但東地域は距離的なこともあり、相談をしながら決めていきたいと考える。</p>
<p>統合のメリットは、資料で詳しく説明するが、デメリットの打開策を教育委員会、行政は、一定の方向性を示して、新しい学校づくりのビジョンを示すこと。「統合してから決める」「皆さんと相談する」という説明は疑問に思う。魅力ある学校づくりには、地域の協力なくしてはダメと説明された。これまで各学校で、地域と連携しながら、いろいろな行事をされてきている。教育委員会としては実態を掌握されていると思うが、統合によってどうなるのか。小中一貫校で統合すると、高橋地区は10 km、資母地区は6 kmある。子どもたちが歩いて資母地区に学習に行きたいといっても行けない。学校でバスをチャーターしたり、豊岡市のマイクロバスを借りたりして、出向くのか、それとも学校から帰ってからするのか。</p> <p>また、地域には人材がおられ、高橋地区には、満州開拓団の歴史を知っておられる方を学校に招いて学習していると認識しているが、今後増やしていくのか、新しいアイデアを持って取組をするのかが見えてこない。但東町の面積は、大阪市に匹敵するほどの広がりのある地域である。過疎の町に対する施策というものを十分に検討していただきたい。</p>	<p>統合した後に、子どもと地域をどうするかは、事前にも話し合いをさせていただく。地域にたくさんの方々がいて、たくさんのものであって、今まで子どもたちを育ててきている。そのことは学校も十分に承知しているので、新しい学校になるときに、地域の方々と一緒に議論する場は必要である。</p> <p>但東町には他の地域にはない、全国に発信できる教育資源として東井教育の発祥地ということがある。カリキュラムはこれから考えていくため、今は、示せないが、その本質は、東井教育の継承で、子どもたちの感じ方、考え方を大事にした教育というのが一番根幹になると思うし、主体性を育てることをこの小中一貫校でどうすればいいのかということが中心になると思う。</p> <p>また、イングリッシュカフェや、チューリップまつり、日本モンゴル民族博物館などいろいろな資源がある。その良さを活かして、どのようなカリキュラムにするかということこれから具体的に考えていく。ただし、今それぞれが学校でやっていることを、小中一貫校ですべてはできない。授業時数は決まっているため、優先順位を付けて、これは学校でやる、できないことについては、地域の力を借りてコミュニティでできないか</p>

	<p>という相談をしたい。その相談をする公的な協議会が、コミュニティスクールというシステムである。学校だけではなく地域でできることは地域でやっていく、一緒に作り上げる、そういうコミュニティスクールを今考えている。これはぜひとも小中一貫校になったらやっていきたい。一緒になって良かったと思えるような教育内容を作っていくということが私たちの一番の使命。教育委員会と学校職員と一緒にやっていきたい。いろいろな可能性が小中一貫校になってできる、4年、3年、2年で区切って、中学校の先生が小学校に行って教科を教えるということも可能になってくる。タブレットは1人1台入ったが、これを先進的にやっていこうということになればできる。何をするのかということと一緒に考えていきたい。</p>
<p>現状、私の子どもはまだこども園にいて、小学校は、まだ先になるが、実際にこの統合案を見ると、関係してくることは分かった。質問というより要望だが、こども園に子どもを通わせている親の意見を聞く機会をぜひ設けていただいて、どういう形になるにしろ、より良い将来に向けて話し合いをさせていただきたい。</p>	<p>そういった機会は積極的に設けたいと思うので、協力をお願いしたい。</p>

## ■アンケートでの意見（要約）

- 答申案では2段階での統合とのことだが、早急に施設一体型小中一貫校の施設整備が望ましいと思う。多くの子どもたちと触れ合う機会を作るための統合を進めるべきと考える。
- 小中一貫校へのプランが最も良いと思う。具体的に進めてもらえればと思う。いつまでも旧3村へのこだわりが強い状態が続いているため若い世代との間にかなりのギャップが生じているように感じる。小学校の児童数が少ないため、他の地域に転居してしまう世帯もかなりあるように思う。早く但東は1つという雰囲気を作る必要があるのでは。
- 現在の実情を詳しく理解できた。
- 質問に対する答弁も的確でよく分かった。
- 子ども第一に考え進めること。
- 但東独自の取組に期待する。
- 3園小の統合を速やかに。
- 地域との関りがもてるように。こども園も同一場所に。
- 子どもの未来が明るい学校づくりを責任をもってみんなで取り組めたらと思う。
- 但東の場合は、小中とこども園と同時進行で統合をすすめていくことが必要と感じられた。小中一貫校の近くに新しいこども園も設置していただきたいと思う。
- スクールバス導入について前向きに検討してもらいたい。
  - ・路線バス（便数が少なく、学校行事・登下校に影響をなくすため）
  - ・社会見学、クラブ、部活等の移動に利活用を凶っていただきたい
- 通学手段については、特に慎重に、綿密に計画していただきたい。
- 統合によるデメリットに対する心配事、不安を少しでも解消する方策を行政は示すとともに情報公開を。
- 地元との協議を何度も行い、意見交換をしてほしい。もっともっと時間をかけて検討すべき。
- 地域の理解を得るには、とにかく不安の解消と希望の持てるプランの提示が重要だと思います。
- 教育委員会の自立的努力を期待。